

されました。又、請願3件を審議し、1件が採択、2件が継続審査となりました。  
可決された主な議案は次のとおりです。

**議案第38号**

**一般会計補正予算  
(第1号)**

**総額8、464万  
1千円の増額を計上**

平成24年度の一般会計予算総額は今回の増額で、総額2百30億4百64万1千円となります。  
補正の内容は、北海道庁舎旧庁舎改築に伴う仮設庁舎建設工事及冷暖房設備改修工事等の庁舎建設費の計上です。

**議案第40号  
(議員提出議案)  
常総市文化芸術振興  
条例の制定について**

この条例は平成13年に定められた国の文化芸術振興基本法に基づき、常総市における文化芸術の振興を目的として、市民及び民間団体等が文化芸術により積極的に接し、親しむための施策の基本となるこ



平成24年  
第3回臨時会  
**審査結果**

とを定めるものです。

市民及び民間団体等は、地域社会の一員として自らが積極的に文化芸術の創造の担い手として、主体性及び創造性を発揮し、文化芸術活動を行い又は、その活動を支援することを通じて、文化芸術を振興する役割を担うことにより、心豊かな市民生活の形成及び活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としています。

また、市・市民・民間団体等の役割を明確化するとともに、文化芸術の振興を図るための施策の総合的な推進を図るための基本計画の策定等について定めることにより、文化芸術の保存や文化芸術に関する活動を行う者の育成、活用等当市における文化芸術に関する環境の整備及び充実に関し必要な事項を定めるための条例を提案したものです。

平成24年第3回常総市議会(臨時会)が、8月9日に、

1日間の会期で開かれました。今臨時会には、石下西中学校建設工事請負契約の締結に関する議案2件、常総市長等の給与及び旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例についての議案1件、合計3件を市長が提案。また、議員提案による東海発電所及び北海道第二発電所の安全性確保と廃炉を求める意見書提出についての議案1件、補欠選挙2件が行われました。本会議即決で採決の結果、議案3件が原案のとおり可決、1件が否決されました。



**一般質問**

17名通告順

二元代表制における首長と議員の役割について

金子 晃久 議員

質問

①市長の専決処分の行使について、その意義と行使の条件について伺う。

②長谷川市長の当任期中の二元代表制における議会とのスタンスに関して伺う。

③議員自ら行政改革に取り組む姿勢を示すべく、苦渋の選択で定数削減をし、選挙が行われ、現在の常総市議会がある。そのような中、市長選立候補者の自動失職によって議会に欠員を出すという話があるが、これでは補欠選挙が行われず、民意が失われるだけではないか、二元代表制の一翼を担う議会に欠員が生じてしまう。市長選立候補者がこれを行うことは議会への挑戦であり、民主主義自体への挑戦に他ならない。さらに、地方分権一括法によって国と地方が対等の関係となり、地方分権の議論が進む中で、議会の果たす役割がさらに重要となり、議員一人ひとりが市民から

負託を受けた義務と責任を自覚し、誠意を持って常総市の発展に寄与すべきと考えらる。

以上をかんがみ、  
③議会に欠員が出ることに対して、二元代表制の健全性が担保されるか。

④議員定数を定めた議会の決定に対して、議員自らがそれを最大限尊重すべきと考えるがいかがか。

答弁(総務部長)

①専決処分は、議会の議決が得られない時の補助的な手段で、その行使には、地方自治法により四つの規定がなされている。

答弁(企画部長)

②二元代表制では、議会、首長いずれもが住民を代表する立場にある。市民、議会、執行機関が丸となって市民協働の市政運営を強力に推進していく必要があると考える。

③議会が成立している以上は二元代表制の健全性は保たれていると認識してい